

ごあいさつ

株主の皆さまには、
平素から格別のご理解とご支援を賜り、
厚く御礼申し上げます。



取締役社長
高橋 和夫

2018年度よりスタートした中期経営計画“Make the Sustainable Growth”は初年度を終え、目標として掲げております経営指標につきましては、おかげさまで計画値を達成することができました。

各事業の進捗につきましては、まず鉄道事業では、ホームドアの整備を順調に進めており、今年度中に整備が完了する予定です。また、今秋には「渋谷スクランブルスクエア第1期（東棟）」の開業や「南町田グランベリーパーク」のまちびらきを控え、皆さまにお喜びいただける施設になるよう準備を進めております。開業の暁には、ぜひ皆さまに足をお運びいただければと存じます。

先般、鉄道事業の分社化についてお知らせいたしました。当社の持続的成長には、各事業を取り巻く環境の変化へ一層のスピード感を持って対応し、新たな付加価値の創造による事業拡大を図らなければならないと認識しております。分社化の詳細については次ページでご説明しておりますが、当社はこの分社化を契機に70年以上続く現商号を当社の創立記念日である9月2日に「東急株式会社」へ変更し、引き続き東急グループの代表企業として、次の100年を見据え、成長戦略を推進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2019年6月

特集1 鉄道事業分社化

鉄道事業分社化に向けて準備を進めています

今後の当社の持続的成長のために、企業価値の向上を図るにふさわしい経営体制に深化すべく、グループ経営を担う事業持株会社と事業経営を行う各子会社へ、機能別に再編してまいります。

鉄道事業（軌道事業を含む）は、今回の分社化により、顧客視点を踏まえたより一層の「安全」「安心」「快適」の追求を図るほか、人材力・技術力の更なる向上、意思決定の迅速化によって強靱化を実現し、沿線価値向上を目指してまいります。

なお、鉄道事業分社化後の当社は、成長戦略を推進すべく、事業持株会社として、開発機能と資産ポートフォリオマネジメント機能を担うとともに、経営戦略に沿った新規事業創出を図ってまいります。



※商号は2019年9月2日(当社創立記念日)変更

● スケジュール

- 2019年 6月27日 株主総会における会社分割(吸収分割)契約承認
- 2019年 9月 2日 当社および鉄道事業会社の商号変更
- 2019年10月 1日 鉄道事業分社化



BUSINESSREPORT Contents

ごあいさつ.....	01	ズームアップ!.....	07
特集1 鉄道事業分社化.....	02	株主優待のご案内.....	09
特集2 渋谷再開発.....	03	株主の皆さまとともに.....	11
特集3 空港運営事業.....	05	財務データ.....	13
キーワードからひもとく.....	06	会社概要/株式情報.....	14
鉄道×先端技術			

株主さま

Q 株主として何か手続きは必要ですか？

A 2019年9月2日をもって当社の商号が変更され、株主さまは「東急株式会社」の株主となりますが、株主さまにおいて**お手続きが必要となるものはございません。**

2019年10月1日の分社化以降も株主さまの地位に変動はございません。

Q 優待内容に変更はありますか？

A 株主優待の内容について、鉄道事業分社化に伴う**変更の予定はございません。**これまでと変わらない優待をお送りいたします。

株主優待についてのご案内は、本誌9ページをご覧ください。

100年に一度と言われる再開発で、
新たに生まれ変わる渋谷駅直結・直上のランドマーク

「渋谷スクランブル スクエア第I期(東棟)」 の魅力に迫る

渋谷スクランブルスクエア第I期(東棟)は、東日本旅客鉄道(株)および東京地下鉄(株)と共同で開発を推進している、渋谷エリア最高峰となる、高さ約230m・地上47階建の大規模複合施設です。
「混じり合い、生み出され、世界へ」をコンセプトに、世界中に知られる日本を代表する名所、渋谷のスクランブル交差点に面する新たな「SQUARE(街区/広場)」として、渋谷の中心からムーブメントを発信し、新たな文化を生み出すステージとなることを目指しています。
2019年11月の開業に先駆け、本施設についてご紹介します。

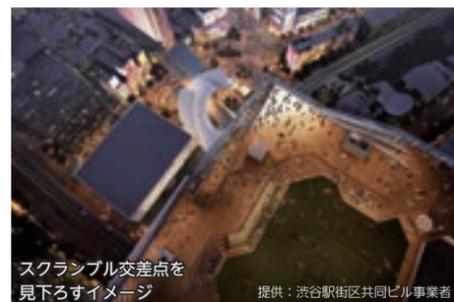
1 日本最大級の屋上展望空間を 有する「SHIBUYA SKY」

展望施設 (14階・45階・46階・屋上)



提供：渋谷駅街区共同ビル事業者

渋谷の中心から、スクランブル交差点をはじめとする渋谷の街はもちろん、東京タワーや代々木公園などの東京を象徴する名所、遠くには富士山などをも望むことができる360度パノラマビューを実現します。
渋谷上空でしか見ることができない眺望体験と空間演出の融合によって、想像力を刺激し、既存の展望施設の概念を超える新しい体験を作り出します。



スクランブル交差点を見下ろすイメージ
提供：渋谷駅街区共同ビル事業者

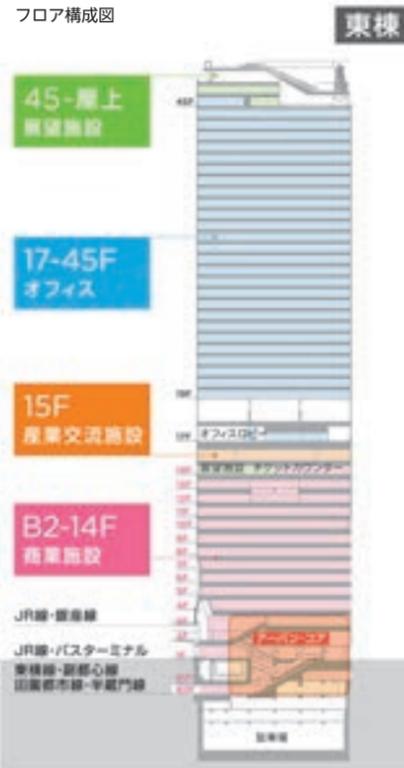
入場料：2,000円(税込)
営業面積：屋上展望空間約2,500㎡
屋内展望施設約3,000㎡



屋上展望空間と富士山の眺望
提供：渋谷駅街区共同ビル事業者



提供：渋谷駅街区共同ビル事業者



提供：渋谷スクランブルスクエア

2 世界最旬の商業施設 Shops & Restaurants

商業施設(地下2階~14階)

多彩な最旬に出会える渋谷を「日本一訪れたい街」にするために、心が躍りに響く旬感を体験できる「世界最旬の商業施設」を目指し、「憧れ」や「ワクワク感」を求めて訪れたお客さまを「VIVA」なキモチにさせる「3つの遊び場」を提案します。

- 「買い場」としてのASOVIVA
今、ここでしか触れられないモノが見つかり、特別な気持ちになれる
- 「過ごす場」としてのASOVIVA
大切な人と大切な時間を共有し、尊敬・感謝・共感を深める
- 「集いの場」としてのASOVIVA
自分の価値観がいつでも刺激されるコト・トキに出会える

※ASOVIVA:「遊び場」と「VIVA=生きる、万歳、うれしいことを意味する言葉」を掛け合わせた造語



提供：渋谷駅街区共同ビル事業者



提供：渋谷駅街区共同ビル事業者

12Fイベントスペース

3 会員制の共創施設 「SHIBUYA QWS」

産業交流施設(15階)



提供：渋谷駅街区共同ビル事業者

「渋谷から世界に問いかける可能性の交差点」をコンセプトに、多様な人たちが交差・交流し、社会価値につながる種を生み出す共創施設。

大学をはじめとする様々な領域のパートナーとの連携から生まれる多彩なプログラムを提供し、新たな価値の創造とクリエイティブ人材の育成を目指します。



提供：渋谷駅街区共同ビル事業者

SCRAMBLE HALL

4 渋谷駅周辺の移動をやすく「アーバン・コア」



提供：渋谷駅街区共同ビル事業者

本施設の開業に伴い、渋谷駅や歩行者デッキなどの各階をエレベーターやエスカレーターによって結ぶ、街に開かれた歩行者動線「アーバン・コア」を整備します。

すり鉢地形である渋谷の縦移動を便利にし、街の回遊性をさらに高めます。

詳しい情報は「渋谷スクランブルスクエア」ホームページをご覧ください



東急グループの強みを総動員 東急の空港運営事業

2つの空港運営に参画しています

当社は、2016年7月から行っている、国管理空港の民間委託第1号案件である「仙台空港」の運営に加え、2019年4月より、「富士山静岡空港」の運営を新たに開始しました。これまでに当社が培った地域と一体となった長期的事業の運営ノウハウを活用し、東急グループ内外各社とともに、地域経済の活性化に貢献していきます。

仙台国際空港 | 仙台空港

どんな空港?

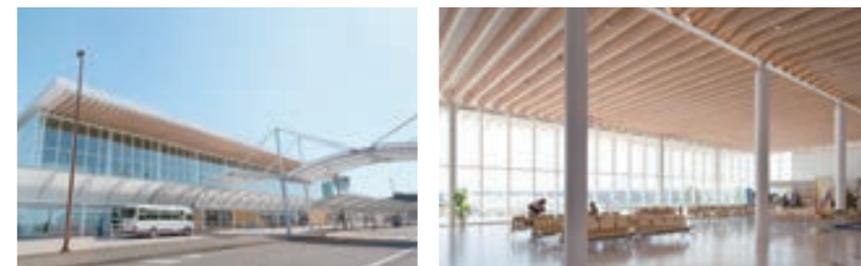
当社を代表企業とした7社で「仙台国際空港株式会社」を設立し、これまで国や地元自治体、第3セクターなどが別々に行ってきた空港運営事業を、2016年7月より一括して行っています。2018年度には、旅客数が2年連続過去最高の約361万人となるなど、好調に推移しています。また、仙台駅まで最速17分と便利な空港アクセスも活かし、民営化以降、国内線・国際線の新規就航や増便を実現してきたほか、空港の安全を担う人材を育成するための各種訓練等にも取り組んでいます。



富士山静岡空港 | 富士山静岡空港

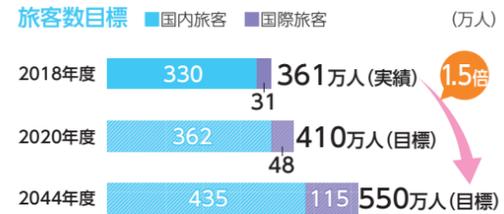
どんな空港?

2018年3月に「三菱地所・東急電鉄グループ」が「富士山静岡空港」の運営を担う優先交渉権者に選定され、2019年4月より運営を開始しました。日本屈指の観光地である富士山にもっとも近い空港として、2009年6月に開港し、本年6月で開港10周年を迎えました。



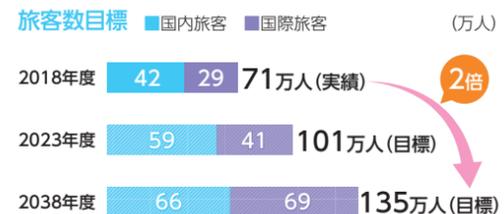
Present | これからの姿 Future

引き続き、航空ネットワークの拡充や交通アクセスの利便性向上などに取り組み、「プライマリー・グローバル・ゲートウェイ」のビジョンのもと、東北の方々に一番に選ばれる空港を目指します。



Present | これからの姿 Future

20年後の姿として、「リージョナル・ランドマーク・エアポート/利用者倍増で静岡県経済・地域を牽引するその港」を目指し、安全安心を最優先して、地域の核・象徴となる、利用者の皆さまにも魅力ある空港づくりを進めてまいります。



「安全」「安心」「快適」に向けて先端技術を活用

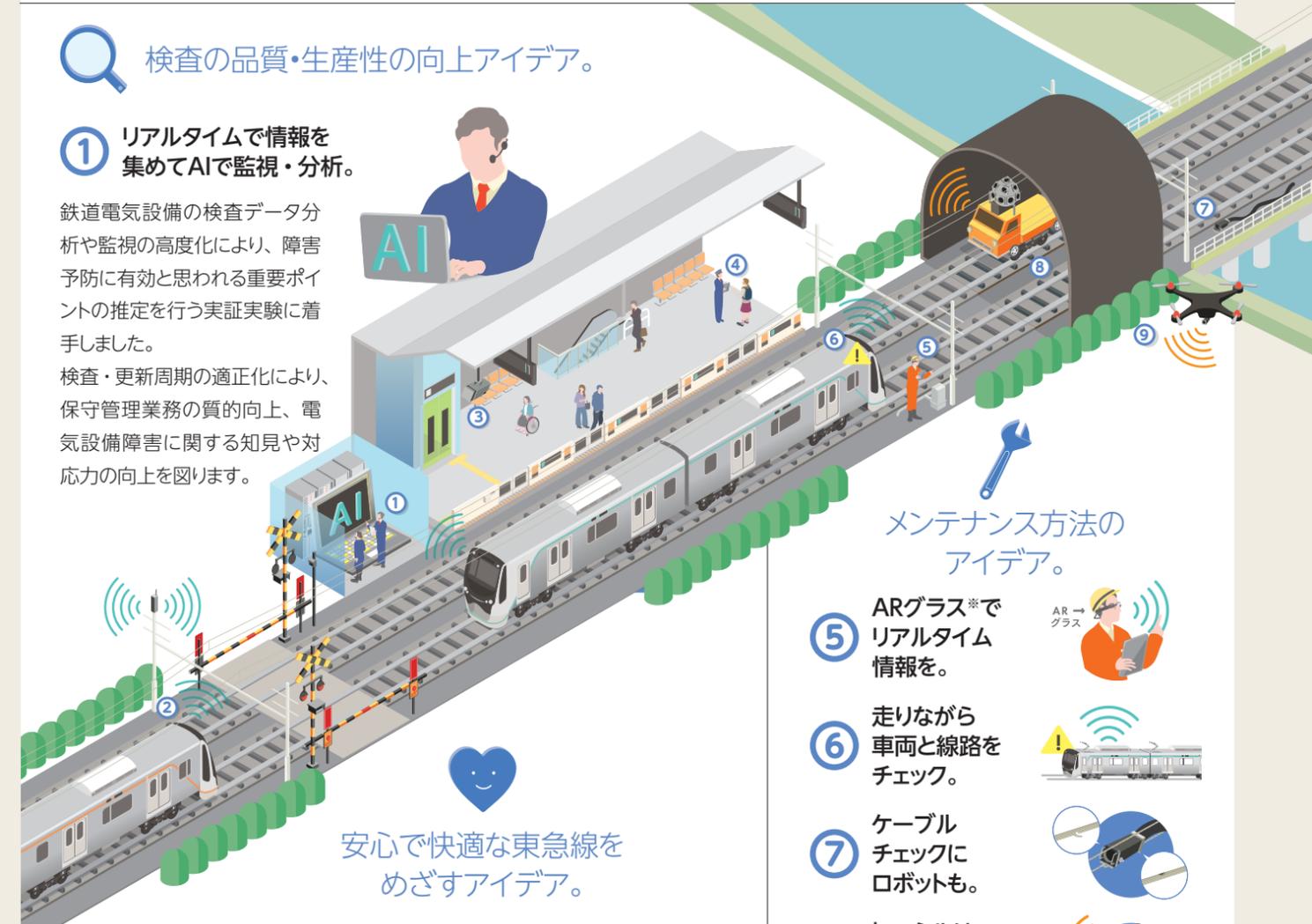
2018年4月より始動した中期3か年経営計画「Make the Sustainable Growth」の重点施策の1つとして、「『安全』『安心』『快適』のたゆまぬ追求」を掲げており、事業環境の変化に対応する鉄道事業の強靱化を目指しています。当中期経営計画期間において、AI(人工知能)やIoTなどの先端技術を活用した実証実験の実施、実用化を通じ、事故の未然防止や早期復旧などに向け、新しい技術開発・活用に取り組んでいます。



① 検査の品質・生産性の向上アイデア。

① リアルタイムで情報を集めてAIで監視・分析。

鉄道電気設備の検査データ分析や監視の高度化により、障害予防に有効と思われる重要ポイントの推定を行う実証実験に着手しました。検査・更新周期の適正化により、保守管理業務の質的向上、電気設備障害に関する知見や対応力の向上を図ります。



② スムーズな運転に向けた工夫。

②



③ カメラ情報を解析して活用。



④ お客さまへ情報をスピーディに。



⑤ ARグラス※でリアルタイム情報を。

⑤



⑥ 走りながら車両と線路をチェック。

⑦ ケーブルチェックにロボットも。

⑧ トンネルは画像、センサー、3D計測で。

⑨ 見えづらいところはドローンで。



2018年8月より、画像解析の人物自動検出技術の活用でホーム上での事故軽減を図る「転落検知支援システム」を田園都市線新鵜沼駅に導入しています。また、カメラ画像からホーム上の人物を検出する仕組みを発展させ、車いすや白杖をご使用のお客さまへのご案内や踏切への立入りの検知などの応用を検討しています。

田園都市線新型車両2020系は、動作状態や機器状態を常に監視できる大容量情報管理装置を採用しており、メンテナンス性の向上や故障の未然防止に繋げるための検討を進めています。

※AR=(拡張現実)機能を有したメガネ型デバイスで見た映像を、パソコンなどで視聴できる

ズームアップ!

ZOOM UP!

さまざまなトピックスを
写真とともにお伝えします。

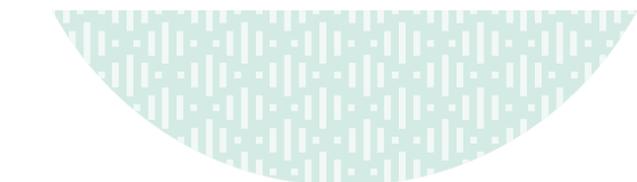
2019年1月

詳細はこちら



東急ベルの 地域特化型総合ECサービス 「SALUS ONLINE MARKET」 オープン

月間23万部発行で過去に約2,500店の魅力的な店舗を紹介してきた沿線情報誌「SALUS」ブランドを掲げた通販サイトをオープンしました。過去に誌面掲載した商品の販売のほか、各ショップとタイアップしたオリジナル商品の開発推進により、地産地消のライフスタイルを提案します。今回のサイトオープンに合わせて沿線から約50店舗が出店し、店舗商品のほか、本サービスオリジナル商品を販売しています。



SALUS ONLINE MARKET



2019年3月

詳細はこちら



エトモ10店舗目となる 「エトモあざみ野」開業

「ヨリミチコミチ～豊かな時間を迎える場所～」をコンセプトに、田園都市線あざみ野駅周辺に隣接して並ぶ3施設を「エトモあざみ野」として一体的にリニューアルオープンしました。神奈川県初出店の5店舗を含め、エトモブランド最多となる35店舗が出店し、周辺にお住まいのお客さまやあざみ野駅を乗り換えでご利用になるお客さまの日常をより便利で豊かにする施設を目指します。

2019年秋

詳細はこちら



目黒線に新型車両「3020系」を導入

2019年秋から新型車両3020系（6両3編成）を導入し、快適性向上を推進します。

また、2022年度上期より、当社が保有する車両を6両編成から8両編成に順次変更し、輸送力の増強を行うことで、混雑緩和を実現します。当社保有の全26編成（新型車両の3編成を含む）の8両編成化は2022年度下期の東急新横浜線開業までの完了を予定しています。あわせて、追加される2両分のホームドア設置を進め、安全対策にも取り組みます。



2019年4月

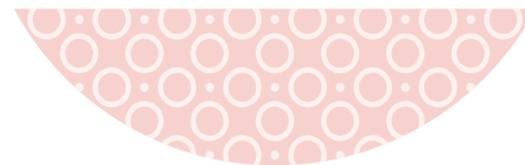
詳細はこちら



3つの財団を統合し 「東急財団」としての活動を開始

東急グループでは、社会貢献活動も重要な事業として位置づけしており、長年にわたり財団活動を行っています。この度「とうきゅう環境財団」「とうきゅう留学生奨学財団」「五島記念文化財団」の3財団を統合し「東急財団」として新たにスタートしました。

最初の財団設立以来45年間、豊かな地域社会の実現に向け、環境、国際親善、文化芸術の振興に尽力し、各分野で高い評価をいただいております。旧財団設立時の想いを大切に引き継ぎながら、美しい生活環境を創造し、調和ある社会の実現を目指していきます。



★★★★ 社外評価 ★★★★★

「健康経営銘柄」に5年連続、「なでしこ銘柄」に7年連続で選定

当社は、社内における働きやすい環境の整備、生産性向上とイノベーションの進化、女性を含む多様性を活かす組織づくりにより「誰もが働き続けたい会社」を実現するとともに、自ら実践した働き方改革を社会へ展開していくことを目指しています。

その結果として、経済産業省が東京証券取引所と共同で、健康経営に優れた上場企業を選定する「健康経営銘柄」に5年連続、女性活躍推進に優れた上場企業を選定する「なでしこ銘柄」に7年連続で選定されました。



株主優待のご案内

200株以上ご所有の株主の皆さまには、ご所有株式数に応じ、東急線または東急バスにご乗車いただける**株主優待乗車証**や、東急グループ各施設でお買い物・ご宿泊などにご利用いただける**株主ご優待券**をお送りしております。

ご所有株式数	株主優待乗車証 (きっぷ式)		選択式優待		株主ご優待券
			株主優待乗車証 (パス券式)	東急ホテルズ 無料宿泊券	
200株以上 500株未満	2枚	—	—	—	A
500株以上 1,500株未満	5枚	—	—	—	B
1,500株以上 2,500株未満	10枚	継続保有で 5枚追加	—	—	
2,500株以上 5,000株未満	20枚		—	—	
5,000株以上 9,500株未満	40枚	—	—		
9,500株以上 12,000株未満	80枚	—	—		
12,000株以上 14,000株未満	10枚	継続保有で 10枚追加	電車 全線パス1枚		
14,000株以上 28,500株未満	30枚				
28,500株以上	30枚	—	電車・バス 全線パス1枚		

株主 ご優待券	東急百貨店 お買物 10%割引券	東急ストア お買物 50円券	東急ホテルズ 宿泊基本料金 30%割引券	東急ホテルズ 飲食代金 10%割引券	東急病院 人間ドック 基本料金10%割引券	Bunkamuraザ・ミュージアム 五島美術館 共通ご招待券
A	5枚	20枚	4枚	2枚	—	—
B	10枚	40枚	8枚	4枚	1枚	4枚

● 継続保有制度

当社の株主名簿に、同一株主番号で、当該基準日を含む直近7回の基準日(3月31日、9月30日)に継続して記載された株主さまに対し、その7回の基準日に所有していた最少株式数に応じて追加発行いたします。

● 選択式優待制度

12,000株以上ご所有の場合、事前に申請していただくことで、株主優待乗車証(パス券式)の代わりに東急ホテルズ無料宿泊券をお送りする制度です。

引き続き株主優待乗車証(パス券式)をご希望の場合は、特段お申し込みの必要はございません。

▶ 12,000株以上28,500株未満

エクセルホテル東急・東急REIホテルブランドでご利用いただける無料宿泊券(ツインルーム1泊+朝食)

※ツインルームは、原則スタンダードツインのお部屋です

▶ 28,500株以上

東急ホテル・エクセルホテル東急・東急REIホテルブランドでご利用いただける無料宿泊券(ツインルーム1泊+朝食)

※ツインルームは、原則スタンダードツインのお部屋です

● 家族合算優待制度

通常の優待制度に加え、家族*1と合算して28,500株以上となる申請をすると、登録株主*2に28,500株以上相当のご優待を発行いたします。

※1:登録株主の2親等以内の家族が対象です

※2:12,000株以上をご所有の方を対象とします

「選択式優待制度」「家族合算優待制度」の
ご利用には事前の申請が必要です

ご希望の方は、三井住友信託銀行株式会社 証券代行部まで
お電話でお申し込みください。

 **0120-782-031** (平日9:00~17:00)

- 株主ご優待券のご利用に際しては、株主ご優待券冊子の各施設のご案内をご覧ください。
- 株主優待乗車証のご利用に際しては、株主ご優待券冊子のご案内をご覧ください。

■ ご優待の発送時期および有効期限

発行基準日	3月31日	9月30日
発送時期	5月中旬	11月中旬
有効期限	11月30日	翌年5月31日

東急ストア 新店舗&リニューアル店舗のご紹介



Precce Shibuya DELIMARKET

2018年9月13日オープン

従来型スーパーマーケットとは異なり、デリカの対面販売を中心に、お酒・ドリンク・デザート・菓子などに特化した商品を取り揃えています。

対面販売コーナーでは、お客さまにお好みのデリ商品をお選びいただき、オリジナルのお弁当を作ることができます。なお、ご購入いただいた商品を、店内に併設のイトインコーナーでお召し上がりいただけます。



東横線・田園都市線「渋谷駅」16b出口直結
渋谷ストリーム2F 営業時間:7:00~23:00

東急ストア武蔵小杉店

2019年4月26日リニューアルオープン

2018年3月より高架橋補強工事に伴い、約1年2か月休業していましたが、地域のお客さまの生活にさらに寄り添った店舗として、営業時間を7:00~25:00とし、リニューアルオープンしました。

商品面では、惣菜売場を拡大し、使い切り・食べ切りサイズの商品や店内製造の“焼きたてベーカリー”などを豊富に取り揃えています。

また、会計時の混雑緩和のため、セミセルフレジを4台導入しました。



東横線・目黒線「武蔵小杉駅」南口すぐ
営業時間:7:00~25:00

五島美術館 | 展覧会のご案内



五島美術館は、東急電鉄の会長であった五島慶太が蒐集した日本と東洋の古美術品のコレクションを根幹に、1960年に開館しました。

現在は、絵画、書跡、茶道具、陶磁など、国宝5件、重要文化財50件を含む約5,000件の美術品を収蔵し、年間7回程度の展覧会で企画テーマに応じて順次公開しているほか、約20,000㎡の庭園の散策もお楽しみいただけます。

皆さまのご来館を心よりお待ちしております。



photo by Shigeo Ogawa

展覧会スケジュール

[館蔵] 夏の優品展 - 動物のかたち -

2019年6月22日(土)~8月4日(日)

夏期整備期間のため、2019年8月5日(月)~8月30日(金)は休館いたします。

[館蔵] 秋の優品展 - 筆墨の躍動 -

2019年8月31日(土)~10月20日(日)

[特別展] 美意識のトランジション(過渡期)

- 十六から十七世紀にかけての東アジアの書画工芸 -

2019年10月26日(土)~12月8日(日)

開館時間 10:00~17:00(入館受付は16:30まで)

休館日 毎月曜日(祝日の場合は翌平日)、展示替期間、

夏期整備期間(2019年8月5日~30日)、年末年始など

ホームページ <https://www.gotoh-museum.or.jp/>

住所 〒158-8510 東京都世田谷区上野毛3-9-25

お問い合わせ TEL 03-3703-0661(テープ案内)

■ 大井町線「上野毛駅」徒歩5分

[館蔵]夏の優品展 - 動物のかたち - のご紹介



●重要文化財 駿牛図断簡
鎌倉時代・13世紀 五島美術館蔵



●青磁猿型小壺(水滴)
高麗時代・12世紀 五島美術館蔵

古来、動物たちの造形は豊穡や栄達、そして長寿などを願う吉祥の家徴でもありました。館蔵品の中から約50点の名品を選び、古代から近代まで、愛らしい鳥たちや小動物、ほのぼのとした牛・馬、水辺の生き物など絵画や工芸に表された様々な動物の姿を一堂に紹介します。

株主の皆さまとともに

抽選で15組 30名の株主さまを

「東急新横浜線工事現場見学ツアー」にご招待！

開催概要	
開催日時	2019年9月19日(木) 13:30～16:00
開催場所	東横線・目黒線 日吉駅周辺施設にて集合解散予定 ※詳細は当選通知にてお知らせいたします
募集人員	15組 30名 (株主さまご本人1名+ご同伴者1名)
応募締切	2019年7月31日(水) (はがきの場合は同日消印有効)
当選者へのご案内	当選通知の発送をもって代えさせていただきます。(8月下旬にお知らせいたします)

イベント応募方法

WEBもしくははがきにてご応募ください。

はがき
はがきに必要事項を全て記入のうえ、ご応募ください。

WEBサイト
下記URLまたは右のQRコードからご応募ください。

<https://www.tokyu.co.jp/kabunushievent/index.html>

- ① 株主さま氏名(ふりがな)、
性別、年齢、郵便番号、住所、電話番号、
株主番号(同封の配当金計算書の右上に印字されています)

- ② 同伴者氏名(ふりがな)、
性別、年齢、株主さまとのご関係

■ 送付先

〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘1-8-1
CO-NIWAたまプラーザ B棟 2F 東京急行電鉄株式会社
セラン事務局 株主さま特別イベント受付係

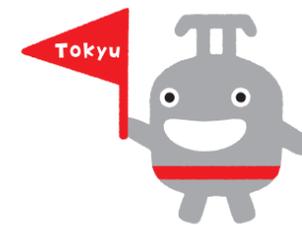
■ お問い合わせ先

総務グループ 文書株式担当 株主さま特別イベント事務局
電話:03-3477-6228(平日 9:30～12:30/13:30～17:00)

ご注意

- ・お申し込みは、お一人さまにつき1回限りです。
- ・同伴者は株主の方でなくても結構です。
- ・参加費は無料ですが、現地までの往復交通費はご負担いただきます。
- ・応募多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。
- ・ご応募に際していただいた情報は、本イベントに関して必要な範囲でのみ利用いたします。

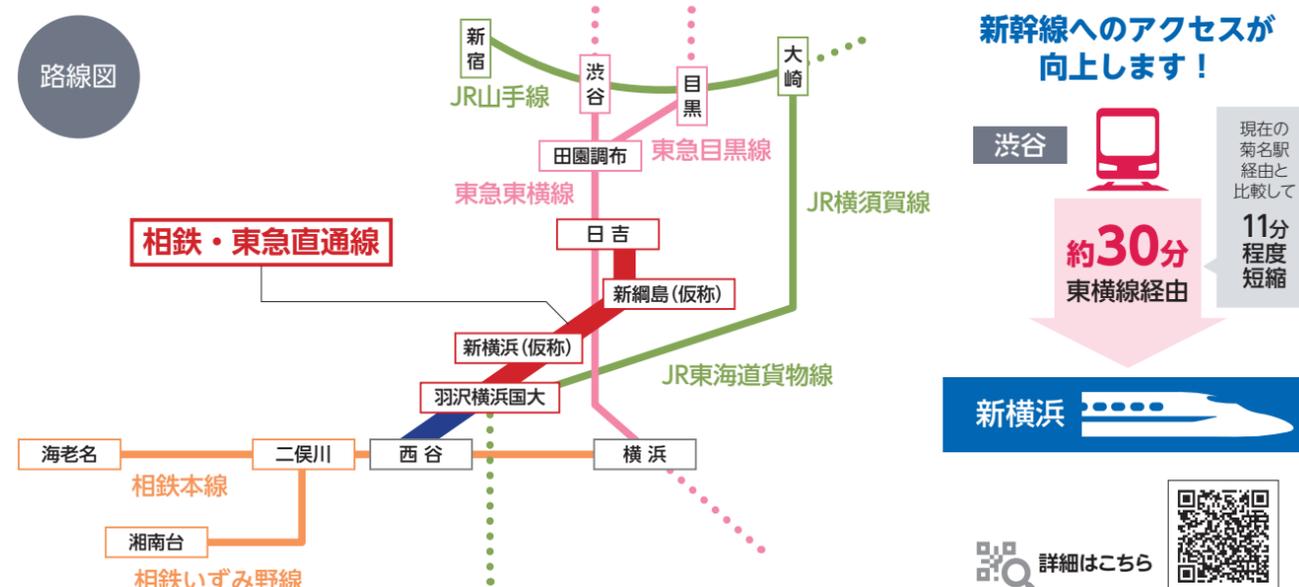
当社では、株主の皆さまに当社の“事業”、“経営”をより深くお伝えするため、株主さま特別イベントを開催しております。
今回は、「東急新横浜線工事現場」の見学ツアーへのご招待です。
ぜひご応募ください。



2022年度下期開業予定「東急新横浜線」について

「東急新横浜線」は、神奈川東部方面線のうち、相鉄・東急直通線の新横浜駅(仮称)から、東急東横線・目黒線日吉駅までの路線で、2022年度下期の開業を予定しています。

神奈川東部方面線の整備により、相鉄線と東急線との相互直通運転が可能となり、広域鉄道ネットワークの形成と機能の高度化が図られるとともに、速達性の向上、新幹線アクセスの向上、乗換回数の減少や、沿線地域の活性化等に寄与します。



前回(2019年2月)開催 株主さま特別イベント 「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト 工事現場見学ツアー」ご招待のご報告

開催日 2019年2月5日(火)

ご招待人数 20組 40名(応募総数 400組)

当日はお天気にも恵まれ、2019年秋のまちづくりに向けて工事を進めている「南町田グランベリーパーク」の様子を、担当者の説明とあわせてご紹介いたしました。

ご参加の皆さまにおかれましては、お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。





科 目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度 (予想)
財務関連データ(億円)					
営業収益	10,914	11,173	11,386	11,574	11,989
営業利益	754	779	829	819	830
経常利益	700	764	837	819	828
親会社株主に帰属する当期純利益	552	672	700	578	580
総資産	20,925	21,486	22,669 ^{*3}	24,128	—
純資産	6,232	6,783	7,541 ^{*3}	7,961	—
東急EBITDA ^{*1}	1,636	1,743	1,749	1,766	1,898
有利子負債/東急EBITDA倍率(倍)	5.7	5.5	5.5	6.0	5.7
1株当たりデータ(円)^{*2}					
1株当たり当期純利益	89.61	110.02	115.42	95.14	95.41
1株当たり配当金	17.00	18.00	19.00	20.00	21.00

※1 東急EBITDA=営業利益+減価償却費+固定資産除却費+のれん償却費+受取利息配当+持分法投資損益
 ※2 2017年8月1日付株式併合(2株→1株)を勘案した値を遡及して記載しております
 ※3 「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」等を当連結会計年度から適用しており、2017年度は遡及適用後の数値となっております

セグメント情報

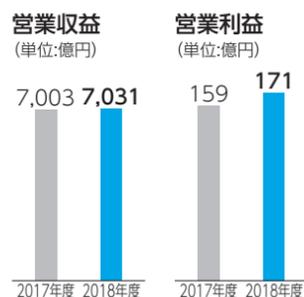
交通事業

当社の鉄軌道業において、輸送人員が増加したことなどにより、営業収益、営業利益ともに前期比で増加。



生活サービス事業

電力小売事業の(株)東急パワーサプライにおいて顧客獲得が進捗したことなどにより、営業収益、営業利益ともに前期比で増加。



不動産事業

渋谷ストリームの開業等による当社の不動産賃貸事業の増収などがあり、営業収益は前期比で増加したものの、前年度の当社の不動産販売業における利益率の高い物件販売の反動などにより、営業利益は前期比で減少。



ホテル・リゾート事業

(株)東急ホテルズにおいて、既存店が高稼働を維持したことに加え、販売単価も増加したものの、自然災害や閉鎖・改装店の影響などにより、営業収益、営業利益ともに前期比で減少。



● 会社概要

商号 (英文名)	東京急行電鉄株式会社 (TOKYU CORPORATION)
設立年月日	大正11年(1922年)9月2日
本店所在地	東京都渋谷区南平台町5番6号
事業内容	鉄軌道事業・不動産事業

● 役員一覧 (2019年6月27日現在)

代表取締役会長	野本 弘文
代表取締役社長	社長執行役員 高橋 和夫
代表取締役	副社長執行役員 巴 政雄
取締役	専務執行役員 渡邊 功
取締役	専務執行役員 星野 俊幸
取締役	常務執行役員 市来 利之
取締役	常務執行役員 藤原 裕久
取締役	常務執行役員 高橋 俊之
取締役	執行役員 濱名 節
取締役	執行役員 堀江 正博
取締役	執行役員 村井 淳
取締役	小長 啓一
取締役	金指 潔
取締役	蟹瀬 令子
取締役	岡本 園衛
常勤監査役	島本 武彦
常勤監査役	秋元 直久
監査役	斎藤 勝利
監査役	石原 邦夫

● 株式の状況

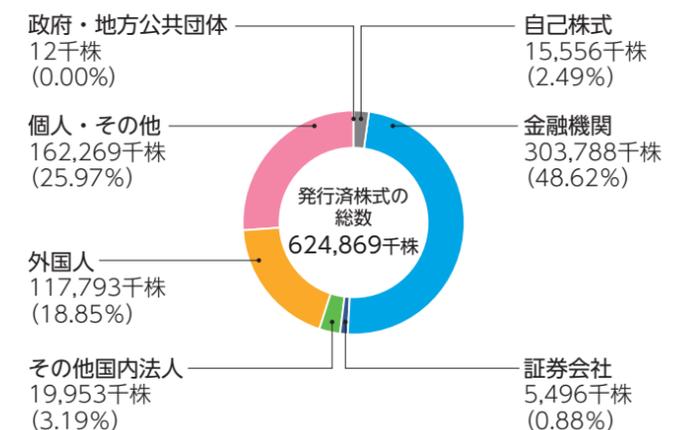
資本金	121,724,981,774 円
発行可能株式総数	900,000,000 株
発行済株式総数	624,869,876 株
株主数	78,441 名

● 大株主(上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
第一生命保険株式会社	38,737	6.36
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	37,207	6.11
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	28,145	4.62
日本生命保険相互会社	23,527	3.86
三井住友信託銀行株式会社	22,395	3.68
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	10,656	1.75
三菱UFJ信託銀行株式会社	9,993	1.64
株式会社みずほ銀行	9,906	1.63
株式会社三菱UFJ銀行	9,845	1.62
太陽生命保険株式会社	9,566	1.57

※ 持株数上位10名を示しております。なお、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を除いて計算しております
 ※ 当社は自己株式を15,556千株所有しておりますが、上記大株主からは除外しております

● 所有者別株式分布



東急電鉄の街と住まい



当社は創立以来、街づくりを常に事業活動の中心に据えてきました。
2022年の創立100周年を見据え、次世代へつなげる街づくりを進めてきた姿をシリーズでたどります。



1971年

北海道札幌市郊外の上野幌における約60万平方メートルの宅地について、東急グループ初となる、共同企業体での開発推進を決定。



1972年

九州最大の住宅都市、小郡・筑紫野ニュータウンの開発を発表。福岡都市圏の南端に位置するこのエリアにおいて、計画的な街づくりを進めた。



1995年

東急多摩田園都市のような美しい街並みを九州にもという思いから、「みどりあふれる、ふれあいの街」をテーマに、美しが丘(筑紫野市)や希みが丘(小郡市)などの街を完成させた。

第3回 全国の街づくり

東急多摩田園都市の開発が形をなしてきたころから、東急電鉄は街づくりのフィールドを全国へと拡大していきます。

街づくりへの強い想いを唱え続けていた、当時の東急電鉄社長五島昇は、美しい国づくり・街づくりを目指して、1971年、地方への進出をはじめました。

1971年10月、東急電鉄と東急グループ4社(東急不動産・定山溪鉄道*1・東急建設・東急観光*2)は、北海道札幌市郊外において、東急グループ初となる共同企業体での宅地開発推進を決定しました。翌年1972年5月には、愛知県知多市西谷地区における39万平方メートルの宅地開発に乗り出したほか、同年10月には福岡市に九州開発事務所を設置し、九州の地域開発にも進出していきました。

1972年、政令都市の指定を受けた福岡市は、九州全域の中心都市として第3次産業を中心に人口が急増していました。福岡県は、一極集中化を避けるべく、筑紫野市から小郡市にかけての丘陵地域を大規模ニュータウン建設の予定地域として位置づけ、民間資本を積極的に誘導する方針を打ち出しました。東急電鉄はその方針に呼応して同地域の開発の一翼を担うことを決定し、計画的な街づくりに取り組んできました。

※1 現・じょうてつ ※2 現・東武トップツアーズ

東急電鉄の住まいに関する情報をご紹介します。
<https://www.109sumai.com/>



過去のコラムはビジネスレポートのバックナンバーよりご覧いただけます。
https://www.tokyu.co.jp/ir/library/library_08.html



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会の議決権 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

公告の方法 電子公告により行う
(<https://www.tokyu.co.jp/koukoku/index.html>)

▶ **株式に関するお問い合わせ先**
(住所・姓名などの変更、配当金の受取方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など)

【証券会社に口座を開設されている株主さま】
口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

【証券会社に口座を開設されていない株主さま】
(特別口座の株主さま)
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

0120-782-031
(フリーダイヤル・平日9:00~17:00)
<https://www.smtb.jp/personal/agency/>

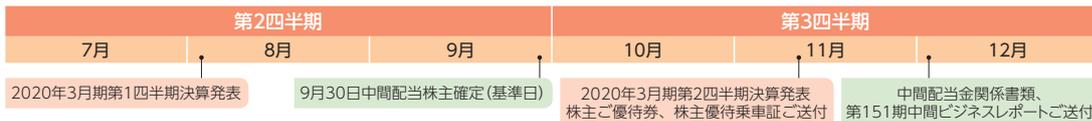
▶ **その他の東急グループのサービスに関するお問い合わせ先**

**東急グループお客さまご案内窓口
東急お客さまセンター**

営業時間 月～金 8:00～19:00
土日祝 9:30～17:30

※年末年始などを除きます

電話: **03-3477-0109**



東京急行電鉄株式会社 社長室 総務グループ
〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5番6号
電話: 03-3477-6228 (平日 9:30~12:30/13:30~17:00)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

2019年6月